

1 次の計算をしなさい。

0.1のいくつ分で考えて、たしたりひいたりします。

(1) $1.4 + 3 = 1.4 + 3.0$ (2) $5.2 - 3.8 = 1.4$

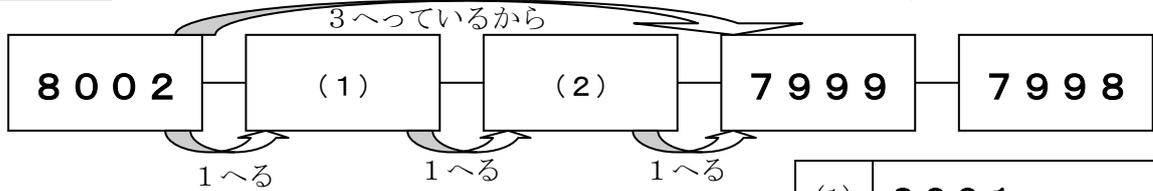
(3)
$$\begin{array}{r} 114 \\ 8 \overline{) 912} \\ \underline{8} \\ 11 \\ \underline{8} \\ 32 \\ \underline{32} \\ 0 \end{array}$$

(4)
$$\begin{array}{r} 200 \\ 3 \overline{) 601} \\ \underline{6} \\ 1 \end{array}$$

百の位から順にわっていくといいね。
商が立たない位は0を書こう。

(1)	4.4
(2)	1.4
(3)	114
(4)	200あまり1

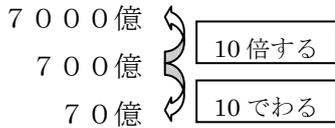
2 にあてはまる数を書きましょう。



8002から7999まで3へっているから、となりどしは1ずつへるはずですね。

(1)	8001
(2)	8000

3 700億を10でわった数はいくつですか。



10倍すると位が1つ上がり、10でわると位が1つ下がるね。

70億

4 にあてはまる数をかきましょう。

(1) 0.856は、0.001を こ集めた数です。

(2) 0.001を、1028こ集めた数は です。

0.001が6こで0.006、0.001が56こで0.056だから、0.001が856こで0.856になるね。

0.001が8こで0.008、0.001が28こで0.028だから、0.001が1028こで1.028になるね。

(1)	856
(2)	1.028

5 右のグラフは、あきおさんが、かぜで休んだ日の

あきおさんの体温を調べたものです。

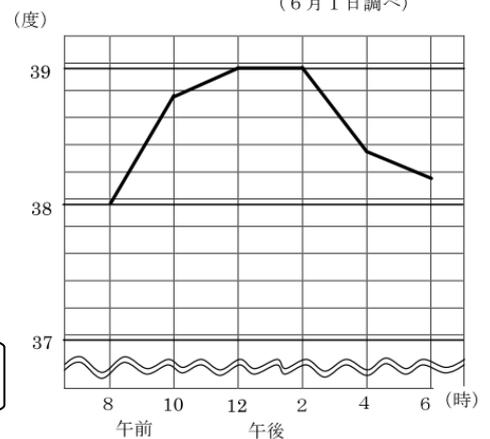
体温の下がり方が一番大きいのは、何時から何時のときですか。

(午後) 2時から 4時



体温が下がる時は、右に下がるグラフになり、変わり方が大きいほど、かたむきが急になるよ。

あきおさんの体温 (6月1日調べ)



1 次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} 547 \\ - 258 \\ \hline 289 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 6.3 \\ + 4.8 \\ \hline 11.1 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4.6 \\ - 0.21 \\ \hline 4.39 \end{array}$$

4.6を4.60と考えることで、0.21と位をそろえて考えることができます。

(1)	289
(2)	11.1
(3)	4.39

2 次の数の大小を、不等号を使って式に書きましょう。

(1) 2 1.8
2(2.0)は0.1の20個分、1.8は0.1の18個分ですね。

(2) $\frac{3}{8}$ $\frac{1}{8}$
8分の1の3個分と1個分と考えればかんたんです。

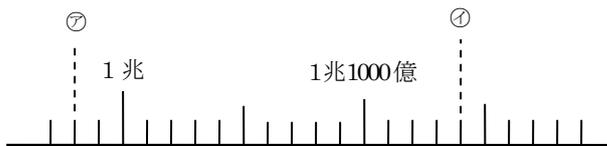
(3) 0.4 $\frac{5}{10}$
0.4を分数の10分の4にして比べる方法と、10分の5を小数の0.5にして比べる方法があります。

位をそろえたり、小数・分数でそろえたりして考えるとわかりやすいね。

(1)	$2 > 1.8$
(2)	$\frac{3}{8} > \frac{1}{8}$
(3)	$0.4 < \frac{5}{10}$



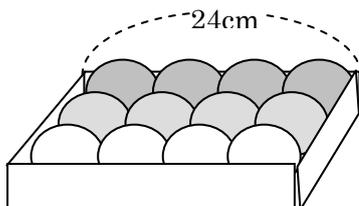
3 下の図の㉞、㉟にあたる数はいくつですか。



1兆から1兆1000億までに10のめもりがあるから、右に1めもりずつ進むと、100億ずつ大きくなっていくことがわかるね。

㉞	9800億
㉟	1兆1400億

4 ボールが下の図のようにきちんと箱に入っています。ボール1個の直径は何cmですか。また、箱のたての長さも求めましょう。



箱のよこには4つのボールがならんでいて、4つの直径の合計が24cmになることから考えていけばいいね。



直径	6 cm
たての長さ	18 cm

ボール4つ分で24cmだから、直径は $24 \div 4 = 6\text{cm}$
直径が6cmでたては3つ分だから、たては $6 \times 3 = 18\text{cm}$

1 次の計算をしなさい。

(1) $28 + 72 = 100$ (2) $725 \times 8 = 5800$

(3) $4 - 2.14 = 1.86$

$$\begin{array}{r} 391 \\ 4.00 \\ -2.14 \\ \hline 1.86 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 725 \\ \times 8 \\ \hline 24 \\ \hline 5800 \end{array}$$

くり上がりやくり下がりを見落とさないように、気をつけましょう。

(1)	100
(2)	5800
(3)	1.86

2 つぎの各問いに答えなさい

(1) 10を6個, 1を8個, 0.1を3個あわせた数を書きましょう。

$= 60 = 8 = 0.3$ $60 + 8 + 0.3 = 68.3$

(2) 千円札を長方形とみると、長いほうの辺は、どれくらいの長さですか。下のアからエまでのの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

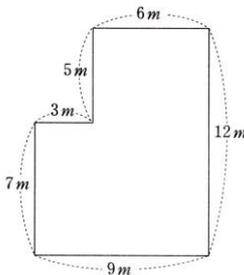
ア 3cm イ 15cm ウ 30cm エ 50cm

人さし指の先から親指のつけ根までが約10cmで、それより長く、30cmものさしより短いから、この中では15cmになるね。



(1)	68.3
(2)	イ

3 下の図のような形をした庭の面積を、アからエの方法で求めました。



- ア $7 \times 9 + 5 \times 6$
- イ $12 \times 6 + 7 \times 3$
- ウ $7 \times 3 + 7 \times 6 + 5 \times 6$
- エ $12 \times 9 - 5 \times 3$

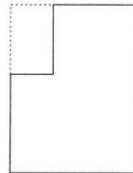
① アの求め方が説明できるように、右の図に線を入れなさい。

7×9 と 5×6 は、上下に分けた長方形の上と下の面積を表していますね。

② 右のように、線をひいて面積を求めると、

ア, イ, ウ, エのどの式になりますか。

左上の角をおぎなって長方形にして、後でひく考え方を表しているね。



②	
②	エ

4 次の計算を、計算のきまりを使って、くふうして計算しました。

①, ②, ③, ④に、あてはまる数をいれましょう。

$$\begin{aligned} 25 \times 36 &= 25 \times (4 \times 9) \\ &= (\text{①} \times \text{②}) \times 9 \\ &= \text{③} \times 9 \\ &= \text{④} \end{aligned}$$

25×4 がちょうど100になり、後の計算がしやすくなることを利用して、計算をくふうしています。

①	25
②	4
③	100
④	900

1 次の計算をしましょう。

○をつけた数を書く場所に気をつけて筆算をします。

$$\begin{array}{r} (1) \quad 72 \\ \times 318 \\ \hline 57\textcircled{6} \\ 7\textcircled{2} \\ 21\textcircled{6} \\ \hline 22896 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (2) \quad 653 \\ \times 209 \\ \hline 587\textcircled{7} \\ 130\textcircled{6} \\ \hline 136477 \end{array}$$

$$(3) \quad 148 \div 37 = 4 \quad (4) \quad \begin{array}{r} \textcircled{2}71 \\ 36 \overline{) 9756} \\ \underline{72} \\ 255 \\ \underline{252} \\ 36 \\ \underline{36} \\ 0 \end{array}$$

(1)	22896
(2)	136477
(3)	4
(4)	271

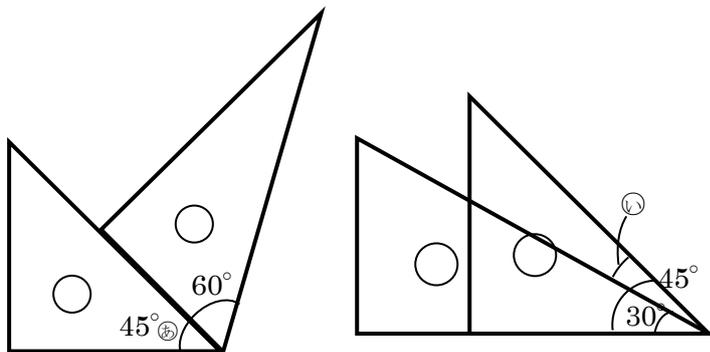


トマトのねだんは2倍に、ミニトマトのねだんは3倍になっているね！

2 ある店で、トマトとミニトマトをねあげしました。トマトは1こ80円が160円に、ミニトマトは1こ40円が120円になりました。トマトとミニトマトでは、どちらがより多くねあがりしたといえますか。

ミニトマト

3 下の図は、それぞれ1組の三角じょうぎを使ってつくった角です。
ⒶとⒷの角の大きさは何度ですか。



$$45^\circ + 60^\circ = 105^\circ \quad 45^\circ - 30^\circ = 15^\circ$$

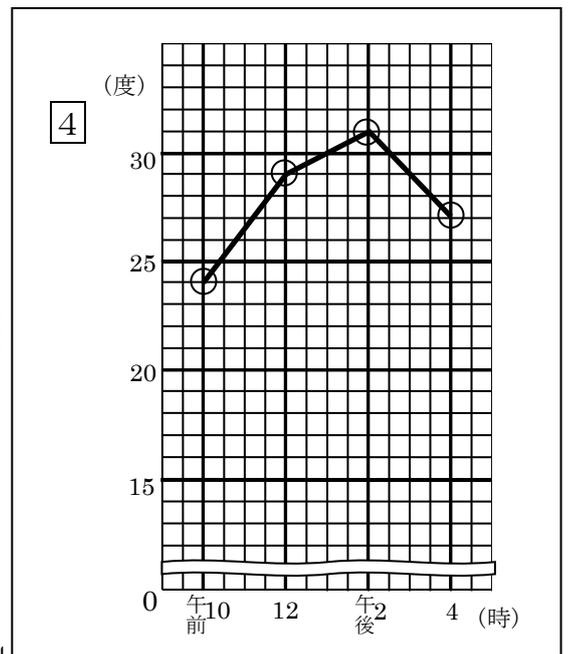
直角三角形の角が45°, 45°, 90° と 30°, 60°, 90° であることを使います。

Ⓐ	105 °
Ⓑ	15 °

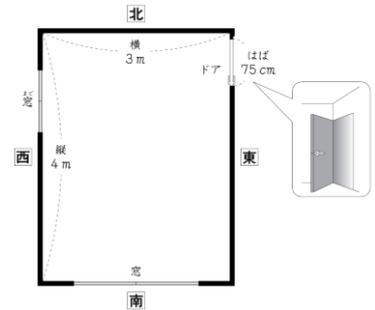
4 下の表は、午前10時から午後4時まで、2時間ごとに気温を調べたものです。これを折れ線グラフにかきましょう。

時こく(時)	午前 10	12	午後 2	4
気温(度)	24	29	31	27

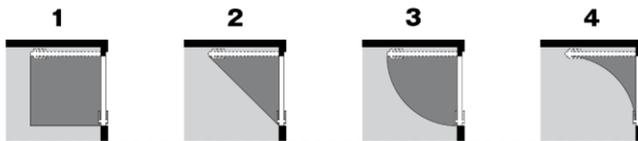
グラフ用紙の○のところに正しく点を打って、じょうぎで結びます。



1 下の図のような、縦が4 m、横が3 mの長方形の部屋があります。部屋の東側には、ドアがあります。このドアは、はばが75 cmで、部屋の内側に開きます。たか子さんは、この部屋の中に、いろいろな物を置こうと考えています。

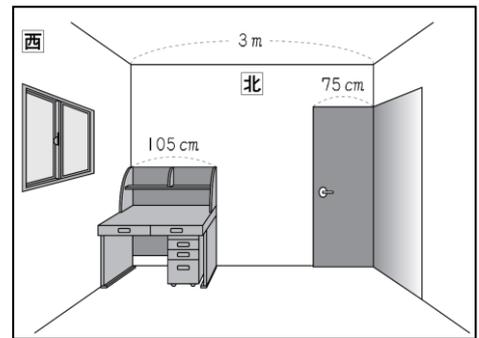


(1) ドアを開け閉めするときに、置いた物にドアが当たってしまう場所と、当たらない場所を調べて図に表します。ドアが当たってしまう場所を ■ で、当たらない場所を □ 表すとき、それぞれの場所を正しく表している図を、下の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

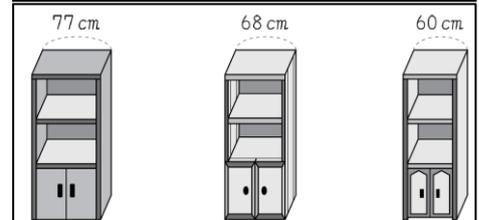


ドアの右下の角は、ドアの右上の固定された点を中心に円をえがくように動きますね。

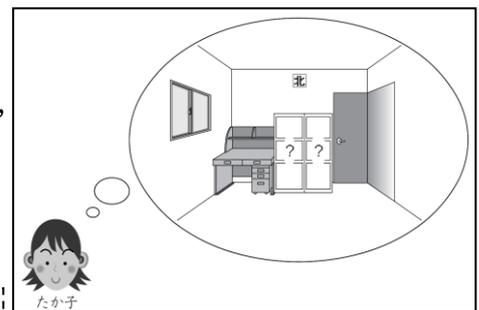
(2) たか子さんは右の図のように、北側と西側のかべにつくように机を置きました。たか子さんの家には、右下の図のような、はばが異なる戸だなが全部で3つあります。



たか子さんは、3つの戸だなの中から2つを選び、下の図のように、**ドアが当たらない場所**に置きたいと考えています。2つの戸だなは、後ろ側を北側のかべにつけて、机の横に並べて置きます。



すると、たか子さんのお姉さんは、「3つの戸だなの中から、どれとどれを選んで置いても、ドアを開け閉めすると、戸だなに当たってしまうね」と言いました。お姉さんの言ったことが正しいわけを、式と言葉を使って書きましょう。



かべのはばから机とドアのはばの和をひいた長さより、一番せまくなる2つの戸だなを組み合わせたはばの方が長いことを説明しましょう。

(わけ)

例 ドアに当たらずに戸だなを置けるはばは、 $300 - (105 + 75) = 120$ で、120cmになる。はばが一番せまくなる2つの戸だなでは、はばの合計が $60 + 68 = 128$ で128cmになり、120cmよりも大きくなる。だから、お姉さんが言ったことは、正しい。

1 よう子さんたちは、^{みなとほくぶつかん}港博物館に行くことにしました。

(1) よう子さんたちは、バスに乗って港博物館に行きます。右の表は、乗車するバス停の^{じこくひょう}時刻表の一部です。

時	港博物館行き 時刻表			
6	10	40		
7	10	40		
8	10	30	50	
9	10	25	45	55
10	10	25	45	55
11	10	30	50	

朝いちばん早いバスは、午前6時10分です。その次のバスは、午前6時40分です。



このバス停には、午前9時40分に集合します。港博物館までは、バスで20分かかります。

午前10時20分までに、港博物館に着くためには、午前何時何分に発車する予定のバスに乗ればよいですか。その時刻をすべて書きましょう。

午前9時45分と
午前9時55分

9:40よりおそい出発時刻の中で、20分をたして10:20までの時刻になるものをすべて選びましょう。

(2) よう子さんたちは、おみやげ売り場に来ています。

この博物館で売られているハンカチ、ボールペン、ノート、消しゴムの定価は、右のとおりです。

ハンカチ 350円	ボールペン 280円	ノート 250円	消しゴム 200円

よう子さんは、ハンカチ、ボールペン、ノート、消しゴムの中から2種類の品物を買おうと思っています。使える金額は500円です。よう子さんは、次のことに気がつきました。



ハンカチを買うと、もう1種類の品物が買えません。

ハンカチを買うと、もう1種類の品物が買えないわけを、式と言葉を使って書きましょう。ハンカチを買った残金を求め、その金額ではどれも買えないことを説明します。

(正答例)

- ハンカチを買うと $500 - 350 = 150$ で、使える金額の残りは150円です。残りの3種類の品物の中で一番安い消しゴムは200円で、150円よりも高いので、ハンカチを買うと、もう1種類の品物を買えません。
- ハンカチともう1種類としてボールペンを買うと、合計は $350 + 280 = 630$ 円。ノートだと合計は $350 + 250 = 600$ 円、消しゴムだと合計は $350 + 200 = 550$ 円。どれと組み合わせても、500円では買えないので、ハンカチを買うと、もう1種類の品物を買えません。

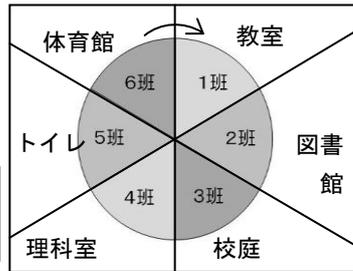
1 ゆうすけさんの学級では、6か所のそうじを、6つの班で分担しています。そこで、右のようなそうじ当番表を作りました。中の円は、回すことができます。

そうじは、1学期の最初の週から始めます。そうじ場所は1週間で交代し、2週目からは、中の円を右回りに1つつ回します。

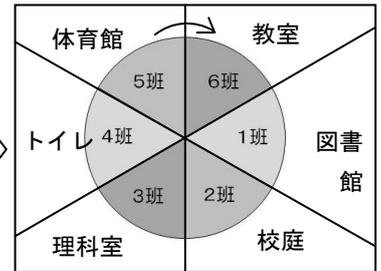
(1) 9週目のそうじ当番で、教室のそうじにあたるのは何班でしょうか。

6週で1回りするので、9週目は3週目と同じ当番になります。

5 班



1週目



2週目

(2) ゆうすけ君は1班です。カレンダーを見ると、1学期は全部で15週あります。1学期の中で、1班が教室のそうじをする週をすべて求めます。ゆうすけ君は、式を使って次のように求めました。

1班が、最初に教室のそうじをするのは、1週目です。

そうじ当番表は、6週でひと回りします。

だから、1班が教室のそうじをする週は、

$$1 + 6 \times (\text{そうじ当番表がひと回りした回数})$$

でわかります。この式にあてはめて表すと、次のようになります。

$$1 + 6 \times 0 = 1 \quad 1 + 6 \times 1 = 7$$

$$1 + 6 \times 2 = 13 \quad 1 + 6 \times 3 = 19$$

1学期は、全部で15週だから、19週目はそうじがありません。

このことから、1学期の中で、1班が教室のそうじをする週は、1週目、7週目、13週目です。

次に、ゆうすけさんと同じ求め方で、1学期の中で、1班が校庭のそうじをする週をすべて求めます。下にある求め方の の中には数を、 の中には式と言葉を、() の中には言葉を入れましょう。

1班が、最初に校庭のそうじをするのは、 3 週目です。

そうじ当番表は、6週でひと回りします。

だから、1班が校庭のそうじをする週は、

$$\text{3} + 6 \times (\text{そうじ当番表がひと回りした回数})$$

でわかります。この式にあてはめて表すと、次のようになります。

(正答例)

$$3 + 6 \times 0 = 3 \quad 3 + 6 \times 1 = 9$$

$$3 + 6 \times 2 = 15 \quad 3 + 6 \times 3 = 21$$

1学期は、全部で15週だから、21週目はそうじがありません。

3週目が1回目、その後は6週間で1回りすることから説明します。

このことから、1学期の中で、1班が校庭のそうじをする週は、(3週目 , 9週目 , 15週目) です。